

五常

編集発行
コミュニティ協議会
広報委員会

人口
7,518人
世帯数
3,069世帯
平成28年6月現在

住みよい五常校区づくりをめざして 平成28年度定期総会開催

五常校区コミュニティ協議会は4月17日に平成28年度総会を五常小学校体育館2階会議室で開催しました。委任状を含む24自治会(理事会)及び17専門組織の責任者が出席し、平成28年度活動計画案、収支予算案などが原案どおり承認されました。

また、5月22日には、合同研修会を開催し、五常校区コミュニティ協議会の活動内容や自治会との関係、各専門組織の活動内容について、今年度の自治会長等の皆さんに学んでいただきました。

平成28年度総会に多数の皆様にご出席いただきありがとうございました。枚方市は自主防災活動に対する補助金を今年度も20万円としました。当協議会でも、引き続き、校区自主防災会と共に防災活動を一層充実させます。校区内の都市再生機構跡地の再開発は、住宅地区の擁壁工事が進められています。病院地区も間もなく工事が開

始され、今後、相当の期間にわたって各地で工事が実施されます。建設工事やトラックなどによる公害問題や交通問題、防犯などの懸念材料もあり、校区の環境が大きく変化していきます。防犯や災害時の助け合いのためには、人と人とのつながりが重要です。ここ数年を継続している「あいさつ運動」や、「五常夏祭り」などの「五常の四季

を楽しむイベント」は、ご近所どうしが知り合うきっかけとなります。また、挨拶を交わす地域の人々の姿は防犯にも役立ってきていると実感しています。引き続き、あいさつ運動や地域の行事をみなさんと一緒に盛り上げて、安心して住める五常校区を作っていきます。

五常校区コミュニティ協議会
会長 野々村 亘

平成28年度活動方針

- 1 五常の四季を楽しみ、安心安全なまちづくり
- 2 地域の再開発に伴う環境問題及び交通問題への対応
- 3 地域力向上のための人材育成

平成28年度重点活動項目

- 1 安全部門(自主防災会、防犯協議会、交通対策協議会、五常っ子見守り隊)の充実
- 2 あいさつ運動の推進
- 3 合同会議によるコミュニティ活動の強化
- 4 専門機関との連携の強化

- 5 四季イベントの継続と充実
- 6 広報活動の充実
- 7 開発に伴う交通環境問題への対応
- 8 人材育成の取組み

平成28年度事業計画

- 4月 第7回樺葉山桜祭り(10日)、コミュニティ協議会総会
- 5月 春の全国交通安全運動、自治会・専門組織責任者合同研修会
- 6月 防災研修会、広報紙発行
- 7月 合同会議(自治部会・専門部会)
- 7月 第9回五常夏祭り(23日)

- 8月 防犯夏期パトロール
- 9月 合同会議、防災会議、秋の全国交通安全運動、広報紙発行



10月 第8回五常文化祭(23日)



11月 合同会議、美化運動推進月間

12月 防災会議、防犯歳末パトロール

広報紙発行

1月 第27回とんど祭り(15日)



合同会議、防災会議

3月 2月 第14回防災フェス(5日)



広報紙発行

平成28年度予算の概要

1 収入

今年度の枚方市校区コミュニティ活動補助金は117万7千9百円で、このうち20万円は自主防災活動に、50万円は福祉活動の小地域ネットワーク活動に使用が限定されています。

各戸に200円負担していただいているコミュニティ活動費が50万円、120円負担していただいている安全部門活動費が30万円の他、夏祭りによる売り上げ金90万円を計上しています。その他、前年度繰越金(約44万円)、日赤からの助成金などを加えて、合計額は3百41万3千8百円です。

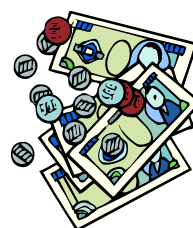
2 支出

主な支出は夏祭りなどの行事(とんど祭り、文化祭など)の経費として135万円、広報費(広報印刷費やインターネット接続料など)に30万円、研修費25万円、安全部門活動費(防犯、交通対策、五常っ子見守り)20万円、備品購入費(テント横幕)17万円を計上しています。

特別活動費として自主防災活動へは枚方市の補助金20万円に独自財源15万円を上乗せし35万円を自主防災会へ、小地域ネットワーク事業(福祉事業)に使用が限定されている補助金50万円全額を校区福祉委員会へ支出し、それぞれの事業を実施してもらいます。

その他会議費や事務費などを合わせて支出の合計額は3百41万3千8百円です。

28年度予算概要		(円)
収入科目	予算金額	
枚方市補助金	1,177,900	
基礎額	(477,900)	
自主防災活動	(200,000)	
小地域ネットワーク	(500,000)	
コミュニティ活動費	500,000	
安全部門活動費	300,000	
その他の補助・助成金	46,000	
事業収入(夏祭り売上)	900,000	
前年度繰越金	444,845	
研修参加費、預金利息	45,055	
合計	3,413,800	
支出科目	予算金額	
事業費	1,350,000	
夏祭り	(1,000,000)	
とんど祭り他	(350,000)	
広報費	300,000	
安全部門活動費	200,000	
備品購入費	170,000	
事務費、研修費等	400,000	
特 自主防災活動	350,000	
活 小地域ネットワーク	500,000	
特別積立、予備費等	143,800	
合計	3,413,800	



コミュニティ協議会役員

平成28年度

- 会長 野々村 亘
- 副会長 山口 楠夫(安全部会)
- 副会長 上野 精順(行事担当)
- 副会長 倉 洋子(青少年部会)
- 副会長 宮路 美佐(福祉部会)
- 副会長 中尾 群(環境部会)
- 事務局長 光岡 和彦(広報委員長)
- 会計 山内 佳与子
- 書記 西田 佳子
- 書記 磯部 智子
- 会計監査 岩田 敬子、森川 茂
- 顧問 大槻哲也(元市議会議長)
- 野村生代(市議会議員)
- 森山明彦(五常小学校校長)
- 奥長 滋嘉
- 相談役

第7回桜まつり

妙見山(エントツ山)で八重桜を楽しむ

五常の四季を楽しむ春の行事「煙突山桜まつり」を枚方市人権政策室主催の「妙見山の煙突見学会」と同時開催しました。

海拔80mの頂上に立つ煙突は戦前に砲弾を作っていた旧陸軍香里製造所の施設で、昭和14年頃に建てられました。枚方市は、香里団地の一面に残された煙突を平和のモニュメントにするため昭和59年に「妙見山の煙突」として永久保存する事とし、平成22年度には耐震補強・補修工事を行いました。

桜祭りは、煙突山の桜、山頂からの眺望、戦争遺跡の煙突見学をセットにしたイベントで、第7回目の今年は山頂付近の八重桜の開花に合わせて4月



山頂からの眺望や遅咲きの八重桜を楽しむ人々

10日に開催しました。まつり当日のエントツ山の入口付近の染井吉野は落花盛んな状態でしたが、頂上の八重桜は「満開近し」の美しさでした。

山頂からは交野の山並みに続く枚方市が一望できます。香里団地随一の眺望を楽しめる地でありながら、水道施設のため、法令で立入が禁止されています。桜祭りはこのスポットを楽しめる

る貴重な機会です。来年のさくら祭りにも是非ご参加ください。

見学会には、戦争末期に学徒動員され、この地で働いた二人の高齢の女性が大阪市内からこられました。煙突山の向いにある末広公園入口付近にある「在りし軍国少女非戦の誓い」の碑を建立(平成20年)した有志の内のお二人で、若い参加者と熱心に話をしておられました。

恒例のホタル観賞会
幻想的なひかりに小さな歓声

五常小学校北校舎の北側に生き物の生息空間を再現しているビオトープ「ごじよトープ」があります。ここで、5月27日の夜にホタル鑑賞会が開催されました。参加者は周辺の灯を消し、真つ暗になった家庭科室前から20人程のグループに別れて、ごじよトープへと誘導され、

親子連れの皆さんは暗闇の中でやさしく光るホタルを鑑賞しました。ホタルが飛ぶと、小さな歓声をあげる子どもたちもいました。1グループ当たりの鑑賞時間はわずか1〜2分間ほどでしたが、幻想的な風景は子どもたちの心に残ったことと思います。ごじよトープでは「五常小をほたるの郷に」実行委員会の皆さんが循環濾過装置の点検や、ビオトープ内の清掃などの維持管理を続けておられます。毎年3月にホタルの幼虫を放流し、6月に鑑賞会が行なわれています。今回は500人以上の親子が鑑賞会に参加しました。



ホタル観賞の順番を待つ人、鑑賞後の人



子育て中の

カラスに注意!

香里ヶ丘西公園や蹉跎山公園でカラスに驚かされた住民がいます。特に、西公園(子どもたちの通称:マルコウ)ではカラスが巣を作って子育て中のため、散歩中の人など、複数の方がカラスに攻撃されました。この公園は利用者が多いうえ、公園前には登校班の集合場所や、ごみステーションもあります。被害が広がらないようにと、近隣の方が枚方市役所に相談したところ、注意を促す立て看板が設置されました。枚方市によると、卵や雛がいると巣の撤去には法律に基づく許可が必要です。また、巣の撤去などはかえってカ



ラスの攻撃性を高め、人を無差別に攻撃することにつながる恐れがあることから、雛鳥が巣離れするのを待つことが賢明なやり方だそうです。

・カラスによる被害

カラスによる威嚇や攻撃は5月〜7月ころが殆どで、近づいてくる人や犬に対して、卵や雛鳥を守ろうとする行動です。これは、子どもを守るために敵に向かっていく本能的なものです。

威嚇行動のプロセス

カラスは「巣に目を向けた人」に対しては目を離さず見張ります。じっと見ています。人が歩いて移動しカラスの視界から消えると、その人が見えるところまで移動して監視を続けます。カラスが更に危険を感じると「カウ、カウ、カウ」と比較的ピッチの早い声で鳴きながら頭上を飛び回ります。かなり近くまで来て鳴きますから威圧的です。さらに、敵が去らないと近くにとまり「ガーツ、ガーツ、ガーツ」と少し濁った声で鳴きながら、とまっている電線や木の枝をつつく行動をします。これでも敵が去らないと、木の小枝を折ったり木の葉をむしって落とします。近くでこれをやられると、多く



の人がかなり恐怖感を感じます。これでも敵が去らない場合、攻撃的になったカラスが初めて人に体当たりをします。

多くの場合、人が「カラスが怒っている」ことに気がつかず、立ち去らなために、カラスの攻撃のスイッチが入ってしまうのです。

攻撃の仕方としては、後ろから頭の

上をかすめるように飛んでいきます。

敵にダメージを与え、自分も傷つくことのない攻撃方法は後ろからの奇襲攻撃であると分かっているのです。このとき、脚で頭を蹴ることがあります。

繁殖期以外にも、弁当の中身を失敬したり、自転車の籠の中の買い物袋を物色する事例もあります。

いずれにしても、「町中でもカラスが多くなつた」ために、「生ごみあさりや餌付けにより、人との距離が短くなつた」ことから生まれた弊害だと考えられます。

カラスに荒らされないように生ゴミを集積し、守ることはとても重要なことです。(環境省資料を参照し作成)

第9回五常夏祭りを開催します

日時 平成28年7月23日(土) 開場 午後4時30分 閉会 午後9時
場所 五常小学校運動場(雨天の場合は体育館など)
予定 模擬店の販売開始は5時、開会式は6時(予定)
今年もやります「お楽しみ大抽選会」は7時半頃から

催物 模擬店(綿菓子、焼きそば、飲み物など)、
ゲーム(スーパーボールすくい、おもちゃなど)
京炎そでふれ、めっちゃハッピー隊のダンス、フラダンスなど

(駐車場はありません。校舎内立入は厳禁。御協力をお願いします。)